

第一号議案 平成 29 年度事業計画（案）

1. 管理運営事業

（1）九州農業成長産業化連携協議会役員会・通常総会

- ・平成 29 年 6 月 8 日（木）
- ・平成 28 年度事業報告、平成 29 年度事業計画、役員選任等

（2）企画運営委員会

- ・年度内 2 回程度開催予定
- ・平成 29 年度事業の進捗状況報告・企画運営方針の検討、来年度事業計画の検討等

（3）共同事務局会議

- ・原則毎月開催
- ・事業の進捗状況の確認、関係機関の連携方策等について検討等

2 経営連携促進事業

<会員間の連携による課題解決>

（1）連携提案実現に向けた支援

ア 会員からの連携提案の実現に向けた取組

- ・協議会の各部会（輸出・外食・I T・流通）等において、会員間の連携促進のための活動を行う。
- ・各部会に共通する課題についての効果的・効率的な取組みを検討するため、必要に応じて合同会議を開催する。

イ 会員間の連携促進に向けた取組み

- ・統一様式及び商談会カレンダーの活用により、会員間の連携促進を図る。

ウ 交流会等の企画・参画

- ・関係機関・団体等と連携し、活用可能なスキーム・事業の積極的な導入を図る。

（2）九州農業連携塾

- ・目的：会員相互の定期的な交流及び協議会外部との交流
- ・時期：年 3 回程度開催
- ・場所：福岡市、熊本市等
- ・概要：情報交換や連携形成の場として、会員の関心事項に関するテーマで実施（平成 29 年度は鮮度保持・長期輸送などの今後の重要課題や、企業の農業参入、植物工場を巡る状況など）。

<生産性の向上>

農業の生産性向上セミナー

- ・目的：先進的な取組事例や技術動向の把握等を通じた農業の生産性向上
- ・概要：セミナー形式での事例研究・人材育成、先進地の視察など

<付加価値の向上>

(1) 課題解決型セミナー

- ・目的：生産者や法人の所得向上につながる農・食の高付加価値化、輸出等の拡大等
- ・概要：先進事例等のセミナー、個別相談の実施等

(2) 6次産業化セミナー・シンポジウム

- ・各県、各県6次産業化サポート機関等との連携を強化し、セミナー・シンポジウム等の内容の充実・強化を図る。

<流通・販路の拡大>

国内市場における流通・販路の拡大

○ 広域ビジネスマッチング交流会「九州6次産業化・農商工連携食品商談会」の企画・実施

- ・平成29年11月8日（水）～9日（木）グランメッセ熊本で開催される「第6回九州食の展示商談会 2017 in くまもと」の会場内で、九州全域における6次産業化・農商工連携促進のための販路拡大等を目的とした広域ビジネスマッチング商談会（個別商談会）を、熊本市（九州食の展示商談会実行委員会事務局）と連携して開催。

海外市場に向けた輸出の拡大

ア 海外からのバイヤー招聘、海外での商談会開催の検討

- ・海外バイヤー及び国内輸出企業を招聘しての商談会開催を検討する。
（九州内で2回開催予定）

イ 輸出拡大に関する各種セミナー開催を検討

- ・輸出事業への新規参入事業者掘り起しのためのセミナー及び輸出拡大のためのスキルアップセミナー等の開催を検討する。（九州内で2回開催予定）

3 人材育成・広報・調査事業

(1) 経営人材育成事業

- ・会員のニーズを踏まえつつ、農業者や農業法人（川上）と食品加工・中食（川中）、小売・卸売・外食（川下）の相互理解のための双方向のインターンシップを、川上・川下のニーズを踏まえて実施。

(2) 高度経営人材事業

- ・コストの把握、生産計画の策定、農業経営の改善等の農業経営の課題を解決するため、中小企業支援機関や6次産業化サポート機関との連携により、専門研修の開講、各種フェアやセミナー等における経営個別相談会の開催、個別相談に応じたコンサルティング、支援機関の紹介等を実施。
- ・海外への調査事業（ミッション派遣等）について検討。

(3) 情報提供・発信事業

- ・「生産性の向上」、「高付加価値化」、「流通販路の拡大」等の経営課題の解決を支援するため、関連するセミナー、現地視察などの開催情報発信を継続していく。
- ・連携協議会の認知度の向上の為、各種セミナー等への後援を積極的に推進していく。

4 部会の取組み

(1) 輸出部会

(方針)

- ・九州地域の農業協同組合・農業法人、漁業協同組合等の生産者、自治体と経済界等が一体となった農林水産物・食品の輸出拡大。

ア バイヤー招聘による販路拡大

- ・ジェトロと共催で、海外バイヤー、日本駐在海外バイヤー及び国内輸出企業を招聘し九州内で実施(九州内で2回開催予定)。

イ 九州が一体となった農水産物・食品の輸出拡大策の検討

～九州各自治体と輸出部会の連携強化～

- ・輸出促進に向けた各自治体及び各輸出協議会等の施策・活動内容等の共有化
- ・行政、ジェトロと連携したセミナー等の実施(九州内で2回開催予定)

(輸出事業への新規参入事業者掘り起しのためのセミナー及び輸出拡大のためのス

キルアップセミナー等)

(2) 外食部会

(方針)

- ・生産者側と外食事業者側とのビジネスマッチングの推進等

ア 会員等が主催する展示商談会への参加

- ・会員等と連携の上、部会としての対応を検討。

イ 専用様式を活用した会員間のマッチング促進

- ・新たに導入された仕組みや FCP シートの作成支援の活用、外食事業者との連携の魅力の発信と連動した取組みの展開等によりマッチングを促進。

ウ 会員の WEB マッチングネットワークを利用した連携促進

- ・ぐるなび PRO 等会員の WEB を活用したマッチングの推進。
- ・会員の WEB、メルマガ等を通じた情報発信。

エ 研修会・セミナー等の企画・参画

- ・部会員等による各種研修会・セミナー等の企画及び積極的な参加による情報発信。

オ 「生産物紹介コーナー」の活用促進

- ・クラウド内の掲示場所の改善の周知等によるコーナーの活用促進。

カ 生産者側への外食事業者との連携の魅力・効果等の発信

- ・現地調査、アンケート結果等による、連携の魅力・効果等に係る情報の収集・整理・発信。

キ 生産者と外食事業者との新たな情報交流の仕組みの検討と普及

- ・IT部会と連携し、生産者側と外食事業者との新たな情報交流の仕組みの検討とその普及推進。

(3) IT部会

(方針)

- ・IT活用による一次産業の経営合理化、生産性向上、販売力強化の現場実証等

ア 専用様式を活用したビジネスマッチングの促進

- ・様式改善の周知、チラシの活用等によるマッチングの促進

イ 会員等が主催する商談会、イベントを活用した取組み

- ・部会員の連携等によるセミナー等の企画、参画

ウ IT活用における生産者側の課題解決

- ①部会作成チラシを活用した生産者への広報普及
- ② I T 導入相談窓口の活用促進
- ③ I T 導入に当たっての課題把握実態調査及びその際の助言の実施、調査結果を踏まえた対応策の検討・実施。

エ I T 活用におけるベンダー側の課題解決

- ・ベンダー側が持つ課題とその解決策の検討・整理、会員へ発信。

オ 先進 I T 技術（IoT、AI 等）の情報共有と実態把握

- ・先進 I T 技術の九州地域内での研究開発、普及についての取組事例の収集と現地調査等の実施。

(4) 流通部会

(方針)

- ・消費者が求める商品提供（マーケットイン）、生産・加工・流通における生産性向上・高付加価値化等（農業バリューチェーン）による生産者所得の拡大及び販路（需要・消費）の拡大を図るため、以下の目的に応じた事業・検討を実施。

(目的)

- ア 一次産業と加工・流通業の連携のあり方についての検討、連携方法の企画（会員を代表して検討し、その結果を会員と共有）。
- イ 会員の取引を拡大するための事業の企画（会員の取引拡大）。
- ウ 部会員の関心が高い事業の企画（部会員の関心事業）。

(事業)

- ア ユーザー視点からの新規商品等の提案（商品価値向上のための提案等）
- イ 海外における「九州」産農産品の認知度向上・輸出拡大へ向けたブランド戦略
- ウ GLOBAL-G. A. P. 及び HACCP 等国際認証の取得・普及等
- エ アジアを中心とした海外販路拡大のための船舶物流等の検討
- オ 国内物流体制の最適化やモーダルシフト等の検討
- カ 輸出拡大を念頭に置いた、海上輸送やコールドチェーンの再検証
- キ 先進地視察やインターンシップの実施
- ク その他、過去の議論で出された課題への対応（共通課題への取組、個別課題のフォローアップ）